

第 23 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 2 年 9 月 1 日（火）午前 11 時から午前 11 時 25 分
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部副部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事概要

【危機管理監】

- ・ただ今から、京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・8 月 28 日に専門家会議を開催いたしまして、第 1 波における対策の検証と今後の対策について専門家の御助言をいただいたところでございます。本日は、改めまして今後の対応を協議いただくため、対策本部会議を開催させていただきました。
- ・それでは、西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・昨日は 4 人ということで、新規陽性者が少なかったですが、6 月中旬以降、連続して感染者が確認されており、引き続き緊張感を持って取り組んでいく必要があることに変わりはないと思っております。
- ・先週の専門家会議では、第 1 波におけます対策等の検証をいただくとともに、今後の方向性について御意見をいただきました。本日の本部会議では、専門家の皆様の御助言、それから、先週末の国の本部会議で今後の取組が決定されております。この取組も踏まえまして、今後の対応について議論したいと考えております。
- ・まずは、第 1 波におけます対策の検証結果について、危機管理監から説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 1 に基づき説明

【知 事】

- ・今、御説明しました 5 項目について、第 1 波以降の対策の検証を行いました。
- ・検証作業は 6 月から始めて、当初の目論見では、落ち着いている間に検証して、第 2 波に備えようということだったのですが、6 月中旬から感染の再拡大が始まりまして、そういう意味では、第 1 波だけではなくて、足下の状況もある程度盛り込みながら、検証させていただきました。
- ・検証の目的は、新しい取組に活かすということでございますので、今日、議論をする新たな取

組がこうした検証の一つ一つの成果と考えていただければありがたいと思っております。

- ・先週の専門家会議では、今後の取組の方向性についても御助言をいただいたところでありまして、引き続き感染状況を的確に把握して、ターゲットを絞った対策を進めてまいりたいと考えております。
- ・いずれにしても、検証は、常に足下の感染状況を踏まえ、春からですと、相当多くの様々な経験、知見が積み重ねられてきておりますので、今後活かしてまいりたいと考えております。
- ・それでは続きまして、最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料2に基づき報告

【知 事】

それでは続きまして、専門家会議の松井議長から御助言をよろしく願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・京都の状況、感染者の状況はだいたい平均して20名くらいが続いているということですが、幸いなことに重症者が少ないということで医療提供体制は逼迫していないと判断しております。
- ・4月からこちらの会議に参加しておりまして、検査体制の充実は相当図られております。その結果、クラスターをしっかり追いかけていくことができていることも感染の拡大を防止できている仕組みになっていると考えております。
- ・今後も、早期発見、早期診断、そして隔離等の措置、そして病床等の確保については、引き続き努力を続けていただきたいと思いますと思っておりますが、知事も御指摘のように、色々この間、経験を積みまして、感染拡大予防のポイントというのにも明確になってきておりますので、ポイントを絞った対策を今後さらに進めていただくようお願いしたいと思います。

【知 事】

- ・ありがとうございました。続きまして、今後の対応の事務局案につきまして、危機管理監から説明をよろしくお願いします。

【危機管理監】

※資料3に基づき説明

【知 事】

- ・今、御説明いたしました今後の対応案につきましても、改めまして松井議長の方から、御意見を賜りたいと思います。

【専門家会議議長】

- ・この3つの重点ターゲットですが、これまでの経験をもとに、こういうところを中心に

感染拡大が広がっているというところ、ここを重点的に強化していただくということは、大変理に適ったことだと考えております。

- ・加えて、別の感染源が広がるということを考えて、検査体制の充実と、積極的疫学調査をしつかり進めていくための人材の確保と養成を引き続きお願いしたいと思っております。

【知 事】

- ・ありがとうございました。続きまして、京都市の三科危機管理監からも御意見をお願いしたいと思います。

【京都市危機管理監】

- ・家庭内感染など、非常に身近な接点での感染が見受けられるということや、保育園で初めてクラスターが発生しましたし、大学生や高齢者の感染が見られると、こういったことで、昨日、京都市におきまして対策本部会議を開き、今まさに何ができるのかを議論しました。
- ・9月を感染防止徹底月間に設定いたしまして、全局、区役所を挙げまして、あらゆる媒体を活用し、接点の有る団体の皆さん、事業者の皆さんと一緒に取組を展開していく、そういうローラー作戦をやっていこうということで、取組を進めていきたいと思っております。
- ・また、毎日の感染者の発表とは別に、1週間前の感染状況との変化とか特徴、注意点等をHPで発信し、市民の皆様方に引き続き意識を高めていただくように取り組んでまいりたいと考えております。
- ・また、検査の充実と両輪で大事なのは、疫学調査を担う保健師でございまして、9月に35名体制で行っております体制を59名まで強化してまいりたいと思っております。
- ・京都府とも連携を密にして今後のインフルエンザと輻輳してくる時期に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

【知 事】

- ・ありがとうございました。先日の門川市長との府市懇談会におきましても、改めて、府市が連携して医療提供体制のさらなる充実、またターゲットを絞った感染防止対策の強化に取り組むことを確認しておりますし、75%が京都市での感染ということなので、今、御説明のありました、市の方が本部会議で御決定をされました取組を我々としても大いに期待しておりますし、引き続き連携して取り組んでまいりたいと思います。
- ・他に何か御発言があれば、よろしくお願いします。無ければ、今後の対応につきましては、この事務局案に基づきまして対策に取り組んでいくこととしたいと思います。
- ・その他に何か報告事項があればお願いします。学校の二学期が始まっておりますので、教育長に少しだけ報告をお願いします。

【教育長】

- ・既に二学期が例年より早く始まっております。今、大変暑いということもありまして、熱中症対策とコロナ対策の両立を目指して進めております。
- ・国のマニュアルも以前に比べまして、マスクの着用に対してとか、消毒のやり方を見直すとい

う動きもありますけど、引き続き、校内での感染拡大に注意をして、緊張感を持って取り組んでいきたいと思っております。

【知 事】

- ・本当に、子どもさん、生徒さんたちに、非常に負荷のかかった夏になっておりますので、引き続き、対応をお願いしたいと思います。
- ・その他に報告すべきことが無ければ、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。
- ・5月下旬に緊急事態宣言が解除されて以降、我々が、感染拡大防止と社会経済活動の両立という非常に難しいバランスの取組を進めてまいりました。
- ・まずは、第1波を乗り切れたことを含め、医療関係者の皆様の御尽力に対しましても、様々な行動自粛等に御協力いただきました皆様にも、改めて感謝を申し上げたいと思います。
- ・また、医療検査体制が大幅に拡充されておりますし、今の6月中旬以降の感染の波が、ピークをとりあえず全国的には迎えたという評価を得ているというのも、皆さんの行動が新しい生活様式の浸透もあるのではないかと考えておりまして、これは引き続き、取り組んでいかなければならないと思っております。
- ・ただ、先ほど松井議長からもありましたけれども、1日20名ほどで推移しているということもありますので、引き続き、緊張感を持って感染拡大防止に取り組んでいく必要がございますし、何と言っても、冬場のインフルエンザ、普通の風邪も含めた感染期ともなりますと、今までに経験のない問題が起こってくる可能性もございますので、よろしくをお願いしたいと思っております。
- ・今日の本部会議で示しましたように、飲食、学生、重症化リスクのある方、この3つのターゲットの集中対策はさらに強化をしますし、京都府医師会とも連携しまして、なるべく幅広く府民の皆様がPCR検査を受けられる体制の確保、入院病床のさらなる拡充に取り組んでまいりたいと思います。
- ・秋冬の本格的な対応に向けましても、引き続き緊張感を持って対応していただくようお願いいたします。

【危機管理監】

- ・ありがとうございました。関係の各部局におかれましては、先ほどの今後の方針、また、知事からの指示事項を踏まえまして、万全の取組をお願いしたいと思います。
- ・松井議長、三科危機管理監におかれましては、御多忙のところ御出席いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、対策本部会議を終了させていただきます。